



きさらづ

市議会だより

平成19年8月1日

第97号

発行:木更津市議会
編集:木更津市議会広報委員会
〒292-8501 木更津市潮見1-1
.0438(23)7111

http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/



大輪のひまわりが咲く『花ほたる』(金田地区) 写真提供:木更津市農業振興協議会

6月定例会

学校の耐震補強・校舎改修に関する 工事請負契約の締結についてなど 21議案を可決

6月市議会定例会は、6月12日から27日までの16日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から提出された一般会計補正予算や工事請負契約の締結についてなど14議案及び特別委員会の設置に関する発議案など7議案、合計21議案が審議され、可決・承認されました。

長報告どおり原案可決4件と決定しました。

2日目 6/13
3日目 6/14

各日とも5人の議員が、市政に対する一般質問(個人質問)を行い、市当局の見解をたずねました。

4日目 6/15

前日までに引き続き、3人の議員による一般質問(個人質問)が行われ、質問終了後、人事案件を除く議案8件(議案第44号・第45号・第48号・第53号)及び請願1件について大綱質疑が行われました。

本会議再開後は、審査結果などについて、委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。この結果、各案件とも委員

決定した後、議員派遣、例月出納検査の結果等に関する諸報告が行われました。次に、市長提出議案14件(議案第40号)第53号)と請願1件及び陳情3件が上程され、提案理由の説明が行われました。続いて、学校耐震補強工事等の契約に関する

本会議の経過

初日 6/12

今定例会の会期を6月27日までの16日間と

6月定例会の日程

日程	議事の内容
6月12日(火)	本会議 (諸報告 議案等上程 議案の大綱質疑 議案付託 議案審議)
13日(水)	本会議 (一般質問)
14日(木)	本会議 (一般質問)
15日(金)	本会議 (一般質問 議案等の大綱質疑 議案付託 議案上程・審議)
20日(水)	常任委員会(総務 経済環境)
21日(木)	常任委員会(建設 教育民生)
27日(水)	本会議 (議案等審議 諸報告 議案上程・審議 閉会中の継続調査議決)

紙面ガイド

- 1面 本会議の日程と経過
- 5-2面 一般質問と答弁の概要
- 6・5面 議案等の内容及び議決結果
- 6面 新たに設置された特別委員会

続いて、議案8件、請願1件及び陳情3件を、次のとおり所管委員会へ付託することとしました。なお、一般会計補正予算に関する議案は、補正内容別に所管委員会へ分割付託され、詳細に審査されました。

最終日 6/27

この結果、各案件とも委員長報告どおり原案可決8件(議案第44号・第45号・第48号・第53号)、採択4件(請願第1号・陳情第2号・第4号)と決定しました。

次に、付託省略議案(議案第46号・第47号)が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

最後に、議員発議案4件(発議案第7号、第10号)が上程され、委員会付託を省略し審議した結果、いずれも原案どおり可決され、6月定例会の全日程を終了しました。

暑中お見舞い申し上げます
皆様のご健勝をお祈り申し上げます
本更津市議会

公職選挙法により、議員等は時候の挨拶状を出すことが禁じられています。
市民の皆様のご理解をお願いいたします。

6月定例会 一般質問と答弁の概要

個人質問13人

6月定例会では、13人の議員が市政に対する一般質問(個人質問)を行い、大綱33点・144項目にわたり市当局の見解や方針などをいただきました。

紙面には、各議員の質問趣旨(大綱)と、質問議員が選択した大綱1点について質問と答弁の概要を掲載しました。

なお、本会議の全容を記録した会議録は、行政資料室・図書館・公民館などで閲覧することができます。また、インターネットによる、検索・閲覧も可能です。

斉藤 高根 議員

金田内の区画整理
金田バスターミナル
小櫃川河口干潟
漁業振興
市道1109号線

問 金田西地区では、所々にダンプカーが砂を運び入れ、盛土が行われているが、地元住民は事業の現状がどうなっているのか不安を募らせている。事業主体である千葉県は、地権者へどのような説明を行っているか
答 県は、事業内容を見直し、計画変更認可取得に向けた作業を進める中、昨年から西地区のまちづくり協議会や地元地権者等に變更内容の説明をしている。概要では、保留地処分金が地価下落により大幅に減少することから、事業費削減を図り、時代に即した土地利用の見直しを行うこととしている。具体的には、瓜倉地区の既存集落存置、盛土への公共事業で発生する流用土活用、街区の大型化、平均減歩率の変更による事業収支改善を図り、

大村 富良 議員

教育行政について
消防行政について

問 消防庁舎は耐震診断の結果、耐震基準で要求される目標値を満たしており、耐震性を満たしているとのことだが、かなり老朽化が見られる。災害の大小に関わらず、情報通信、作戦、指揮等の拠点となる重要施設であり、大地震等に十分耐え、機能が果たされるか心配している。耐震結果の数値は、最近発生している地震で、どの規模までを想定して安全と判断しているのか
答 現在の消防庁舎は昭和47年に建設以来、35年を経過し、耐震性を満足しているとはいえず、出窓部分の改修や外壁補修の必要性は感じており、既に敷地内の訓練塔は危険判定により撤去した。庁舎は、昭和62年の千葉県東方沖地震(マグニチュード6.7規模)に



早期の延伸が待たれる中野畑沢線(金木橋)

約344億円の総事業費が半額程度になるとのことである。
問 木更津駅西口から中野畑沢線を経て、アクアラインに接続する高速バスルート計画があると聞かすが、区画整理地内の都市計画道路



築35年を経過する消防庁舎

も耐えており、耐震診断方法として1次診断より精密な第2次診断法の診断では、この建物に想定される地震動に対する耐震判定指標以上の数値(0.75以上)の結果であったことから、既存鉄筋コン

平野 秀樹 議員

みなとまち木更津の再生について
木更津市の防犯活動について

問 みなと木更津再生構想の起爆剤となる築地地区の大型集客施設立地については、昨年6月議会でイオン(株)と(株)ロジコム2社の進出について公表されたが、開業に向けた現在の状況を伺いたい
答 進出事業者2社と地権者の新日本製鐵(株)による施設等の立地手続きが進められており、6月にはイオン(株)から千葉県に建築許可申請がされ、審査中と聞いている。

問 木材港と内港地区では、木更津港港湾計画の改訂が予定されることだが、これまでの取り組みを伺いたい
答 現在、千葉県では消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用推進整備計画が進められており、消防の広域化と併せ、消防を取り巻く環境変化に対応した施設整備も慎重に対処する必要がある。消防庁舎の改築は、市当局と十分協議し、他の公共施設との整合性を図りながら考えていきたい。



木材港地区の貯木池

業が港湾管理者の千葉県により進められている。18年度実施の「木更津港構想検討調査」では、みなとの新しい方向性や内港地区と木材港地区の整備方針について様々な検討が行われた。19年度では、内港地区の海洋性レクリエーション機能の整備にあたり、東京湾のマリーナ利用者を対象に木更津港湾に対するポर्टユーザーの意識調査を市が実施したほか、市制施行65周年記念として、港まつり花火大会時に、海上から花火を観覧できるレストラン船を誘致する等今後の内港活性化につなげていきたい。また、木材港地区では、隣接する公共岸壁や築地の大規模集客施設立地等を考慮したうえで、水面や土地の利活用について十分検討していきたい。市では、「みなとまち木更津」にふさわしい整備が、平成20年度末改訂予定の次期港湾計画に反映されるよう努める。

一般質問と答弁などをケーブルテレビ・FMラジオで放送

本会議での一般質問の様子を、質問当日の夜などに、ケーブルテレビとFMラジオで放送しています。

内容 / 1回目の質問と答弁(1議員30分)
放送 / JCOM木更津(2ch)・FM木更津(83.4MHz)
時間 / 定例会ごとに異なります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

傍聴者の状況

区分	4~6月計	19年累計
本会議	105人	198人
委員会	4人	4人
合計	109人	202人

佐藤 多美男 議員

住民税増税と介護認定者への障害者控除について
 羽田へのダンプ通行対策について
 コミ袋代の引き下げについて
 新日鐵株管理センターの木更津移転について

問 羽田空港の拡張工事に伴い、1日に7千台以上の大型ダンプカー輸送が予想され、交通渋滞で市民生活や産業活動に大きな影響が出る懸念されている。本格的な土砂運搬が始まる今後は、国道16号や県道、住宅地の通学路等もダンプ街道化し、深刻な交通渋滞や騒音、振動被害等が心配される。通学児童等の歩行者への交通安全

全対策や交通渋滞対策はどうしているか

答 国、県、市、事業者等の関係団体で組織する「羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会」では、運搬ルート为国・県道等の幹線道路とすること、危険箇所カーブミラーや安全看板を設置すること、第三中学校前の国道には通学時間帯に交通誘導員を配置させること等の措置を講



国道16号を通行するダンプカー

じるよう、交通安全対策が了承されている。また、ダンプカー運転手へは、安全講習会の受講を義務付け、安全教育を徹底している。

問 騒音、排ガス、振動等の環境問題対策はどうなっているか

答 山砂運搬に伴う騒音等の監視体制としては、羽田D滑走路JVが通行道路沿線において測定しており、現在、長須賀で交通量調査、桜井及びかずさアカデミアパーク前交差点で騒音、振動、粉じん、交通量の調査を実施中である。このほか、従来からの定点測定を含め、千葉県が草敷、潮見、祇園等の7地点で、また市では畑沢、茅野等の5地点で継続調査を行っているほか、県が昨年12月から今年2月まで着工前の調査を実施した。

山形 誠子 議員

国民健康保険について

PFI方式の2事業について
 保育問題

問 本市の国民健康保険被保険者資格証明書の発行数は、県内でも最悪な状態にある。保険証が交付されなかったために、痛みを我慢して手遅れになった市民が何人もいるとの話を聞いたが、保険証未交付は命に関わる問題という認識はあるのか

答 国民健康保険は、国民皆保険制度の下で掛金としての国保税を

納税してもらったことを前提とした相互扶助制度である。滞納者に対して一律に資格証明書を出して、被保険者の義務として課されている国保税を特別な事情が無いにも関わらず、納期限を1年経過しても滞納を続けている人には、督促状、催告書の発送、夜間の電話催告、呼び出し納税相談、臨戸徴収等、納税に向けた



市役所の保険年金課窓口

様々な対応をした上で、それでも納税に応じられない場合に、税負担の公平を確保する意味から資格証明書を発行している。

問 病人や乳幼児のいる世帯や母子世帯への資格証明書発行数は把握しているか

答 21の乳幼児世帯へ交付しているが、病人や母子世帯への交付数は把握していない。

岡田 壽彦 議員

教育環境の整備について

福祉の向上について
 防災行政について

問 県立上総博物館の移譲については、県に対して正式な申し入れを行い、すでに県の財産処分委員会が決定されたというが、大きな施設だけに市全体としての施策を考えなければならぬ。千葉県内の博物館として有数の歴史を誇る上総博物館を譲り受けることに

答 県内初の県立博

物館を譲り受け、「教育都市ささら」にふさわしい市立博物館として新装オープンしたい。同博物館の収蔵資料には、国指定重要文化財の「上総掘り用具」、県指定文化財の「東京湾のり生産用具」等、木更津関連のものも多く、入館者も市民が中心である。移譲を機に、金鈴塚遺物保存館から国指定重要文化財の古墳出土品を移し、展示

問 市に博物館が移



来春に県から移譲される上総博物館

したい。さらに市所有の書画展示や、隣接の旧安西家住宅と一体性を果たした企画等、新たな市立博物館を生きた学習や文化活動の拠点として多目的に活用していく。

答 児童、生徒が、展示してある身近な地域の歴史や文化に触れることで、市への愛着心を育むことになり、それは次代を担う子どもたちが、ふるさとに住み続けたという意識形成や、歴史、文化を後世に伝える原動力となる。なお開館時期は、平成20年4月の移譲後に展示替え等の準備を終えてからになる。

白坂 英義 議員

行財政改革について

環境行政について
 選挙行政について

問 行財政改革5か年プランに関する平成17年度の成果として、達成率や効果金額で目標値を上回る結果が報告された。このうち40項目程度であった職員の特殊勤務手当は、16年度までに33%で減少し、現在は28%で削減したとのことだが、どう評価しているか

答 特殊勤務手当は「著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務

その他著しく特殊な勤務に対して支給される手当」であり、10年前の40項目から28項目まで削減していることは、見直しによる特殊勤務手当の適正化が図られていると考えている。

問 特殊勤務手当について、プランでは21年度までに削減効果額を1億円としているが、今後どのような取り組みを計画しているのか

答 平成16年度に手



特殊な勤務の一例(救助作業訓練の様子)

答 手当改定は賃金労働条件の変更となるため、現在も組合等と見直しに向けた協議を行っている。

ね、勤務の特殊性が認められないもの、支給対象職員が範囲が広すぎるもの、他の手当又は給料ですらに措置されているもの等、制度の趣旨に合致しないものについては見直しを図りたい。

問 実績のない手当等は廃止への検討を行うべきと考えますが、プランでは相応の効果額を見込んでおり、当面見直しはしないのか

國吉 俊夫 議員

道路を含めた公共施設について

商工業振興事業について

問 近年、道路網の変化につれ、通行量が増加傾向にある道路が増えてきた。中でも市役所前から木更津高校に至る市道127号線(潮見木高線)や、中尾地先からアピタ交差点までの市道113号線(牛袋小浜線)は、交通量が大変増加している。他市では袖ヶ浦市の「平成通り」「昭和通り」や君津市の「いやさか通り」等、愛称



交通量が増加する市道113号線

名を付けた市道が市民に愛され、定着している。木更津駅西口の「富士見通り」のように、交通量の増加した市役所前道路やアピタ前道路への愛称付けの考えはあるか

答 本市での代表的な道路愛称として「富士見通り」や「あじさい通り」があるが、これらは自然発生的な通称名を尊重したり、地域住民の思いを事由に

いと考えている。

問 清見台地区の「あかしや通り」や「清見台中央通り」等、地域商店街や市民が道路に愛称を付け、地域活性化につなげようとする運動に対し、応援のPR活動を行う考えはあるか

答 平成14年に地区住民による愛称決定がされたこれらの通りは、住民が道路清掃や植樹帯の手入れを行う等、愛着は大きいと感じる。市も各種広報媒体を駆使し、早く多くの市民に呼称されるよう協力していきたい。

近藤 忍 議員

本市の地震災害対策について

問 市役所は災害発生時に対策拠点となる重要な場所だが、耐震補強はるか耐震診断も行われていないと聞く。国は防災拠点施設等の耐震改修計画策定を求めているが、本市の状況はどうか

答 市庁舎への耐震診断の必要性は十分認識しているが、現在は学校施設の耐震改修を優先的に実施していることから、厳しい財政



耐震補強等の工事を行う岩根小学校

状況の中、庁舎の改修時期等は明言できない。早期の実施に向け努力していきたい。

問 学校は耐震補強工事を優先し、補強終了後に大規模改修工事を進めるべきではないか。今年度に4学校で実施する工事費に占める耐震補強工事と改修工事の割合を伺いたい

答 学校施設が老朽化していることやコスト削減等の点から耐震補強と校舎改修を同時に実施する。工事費全体のうち、耐震補強工事分は2〜3割、改修工事分は7〜8割。

問 耐震補強工事は多額の工事費を必要とするため、工事費削減の点から学区再編か、

大野 俊幸 議員

まちづくりによる地域の活性化について

行政改革による住民サービスの充実について
木更津市老人保健福祉計画・介護保険事業計画について

問 本市の活性化やまちの再生を目指す「みなと木更津再生構想」では、駅西口地区から内港地区の都心居住促進ゾーンのまちづくり方針として、質の高い居住環境整備の促進を掲げている。また駅西口地区の整備方針には、店舗等の複合施設を持つ都心型集合住宅の整備促進やバリアフリー対応型住宅の整備促進が示されている



集合住宅建設が進む木更津駅西口

答 既に「木更津市定住促進に係る持ち家奨励条例」を定め、市街地への定住促進に取り組んでいる。また今年度から西口地区の空き店舗への新規出店者に改装費等の補助を行う「木更津駅西口地区空き店舗開店補助事業」や、市民の自主的なま

問 平成16年度に国が創設した「まちづくり交付金」は、財政状況の厳しい本市にとって、道路、公園、景観整備等のまちづくりによる活性化に最も効果的な整備手法と考えるが、交付金導入を検討しているか

答 交付金導入に向け、今後の地域活性化に資するまちづくり指針となる都市再生整備計画案を作成し、快適なまちづくりを行っていききたい。

鶴岡 大治 議員

健康で安心できる生活づくり

問 たちより館「金のすず」の1階の警察官立寄所とされている空きスペースを今後どのようにされるのか説明したい



空きスペース利活用が期待される金のすず

答 駅東口にも警察官が立ち寄れるスペースを確保し、巡視をお願いするという目的のもと開設当初から「警察官立寄所」として位置づけ、今日まで至っている。しかし、利用が図られているかとい

う点に関しては十分でなく、その利用方法等について検討していかねばならないと考えている。

問 空きスペースをボランティアグループから民間交番として使いたいと申出があった場合の対処は

答 市の公有財産を借り受ける場合は、利用者側から計画書等を添付した申請書を提出してもらい、後に市に

おいては、市長決裁を受けて、貸付けすべきかどうか決定を行うので、可能性については申請を受けた段階で判断することとなる。

問 民間交番事業は、本年より始まった木更津市中心市街地まちづ

くり支援事業の対象とならざるが、いかがか

答 本事業は、中心市街地の活性化を図るため、中心市街地において市民等が主体となつて景観形成や観光振興等に寄与するために活動する団体に対し、事業に要する2分の1以内、かつ50万円を限度として交付するものである。民間交番が設置可能な場合は、開設する際の施設整備費や、案内板、看板等の設置については、支給対象になると考えられる。

平野 卓義 議員

こころ豊かなひとづくり

問 学校支援ボランティア活動推進事業は、平成10年に開始以来、10年を迎え、この間に登録者数は約8倍、延べ活動件数は約25倍と飛躍的に拡大し、今年度のボランティア登録者は千七百八十八名にまで増加している。また、全国各地から視察が訪れ、本市を参考にした学校支援ボランティア活動に取り組み始めた自治体も少なくない。

答 事業の成果として、1つに市民の学校教育に対する関心の高まりから登録者が増加し、本の読み聞かせや書道の指導等の教育活動支援や、花壇の整備や安全パトロール等の環境整備支援まで、学校の教育活動の充実や子どもたちの安全確保への大きな力となっていること。2つに地域の大人と子どもたちの関係が深まり、子どもたちの健全育成につながる地域内の新しい連携が生まれてきたこと。3つに市内小中学校の生活意識調査を分析し



広がるボランティア活動(祇園小の様子)

問 学校支援ボランティアの今後の方向性をどのように考えているか

答 しばらくは登録者数、活動件数を増やす取り組みを続けながら、一方で、子どもたちの成長への効果を分析し、活動内容を見直すとともに、地域がさらに連携する活動のあり方を研究していく必要がある。

荻野 一男 議員

選挙投票所について 不祥事に関する職員の懲罰について 上総博物館と太田山の防空壕とトンネルの活用について

問 移譲される上総博物館と太田山公園の集客数を高めるために、市民から、戦時中の遺産である太田山の下に残る防空壕を有効活用してはどうかと提言を受けた。現在、防空壕とその換気口はどのような保存状態にあるか

答 防空壕は、太平洋戦争当時、太田山公園山頂に砲台が築かれた際に作られたものだが、その後、市が管理し、現在は立ち入り禁止としている。横穴でつながる防空壕は、奥行き120mのものと10mのものが2本ずつあり、壁はコンクリート、床は赤レンガが敷き並べられている。一部で崩落や地下水等が見受けられるが、これまで本格的な調査は行われていない。また、換気口として、旧安西家西側近くに、直径1.2mのコンクリート製



太田山下にある防空壕跡

問 太田山公園一帯を活性化させ、多くの人々が足を向けてくれるよう知恵や工夫が必要である。防空壕を利用し、高齢者や体の不自由な人のために供する、いたわりと集客を

答 防空壕を利用したエレベーター等の設置にあたっては、ボーリング等詳細な調査を行い、強度判定や一般利用の可能性調査が必要のほか、壕内には湧水等があることから排水設備や安全性確保の経費、さらにエレベーター設置となると膨大な費用を要する。市の財政状況から考えると非常に難しいが、今後色々な角度から調査研究していきたい。

議案等の内容及び議決結果

市長提出議案

議案第40号『工事請負契約の締結について』 議案第41号『工事請負契約の締結について』 議案第42号『工事請負契約の締結について』 議案第43号『工事請負契約の締結について』

いづれの議案も学校耐震補強及び校舎改修工事(建築)の工事請負契約の締結に伴い、議会の議決を得ようとするものは、議案番号順に、西清小学校・清見台小学校・岩根小学校・木更津第一中学校の4校です。

原案可決 賛成多数

その他の3議案

議案第44号『平成19年度木更津市一般会計補正予算(第2号)』

議案第45号『平成19年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)』

いづれも補正予算に関する議案で、一般会計予算と特別会計予算に総額五百三十一万二千円を追加しようとするものです。議決後の予算総額(一般会計・特別会計・水道事業会

計)は、六百七十六億四千六十八万円になります。(左表のとおり)

原案可決 全会一致

議案第46号『木更津市固定資産評価審査委員会委員の選任について』

木更津市固定資産評価審査委員会委員花崎龍雄氏の任期満了に伴い、後任者として金網誠三氏を選任しようとするものです。

原案承認 全会一致

議案第47号『木更津市監査委員の選任について』

木更津市監査委員泉清水次郎氏の任期満了に伴い、同氏を再度選任しようとするものです。

正する法律等の施行に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第50号『木更津市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について』

地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 賛成多数

議案第51号『木更津市下水道条例の一部を改正する条例の制定について』

木更津市下水道事業審議会の答申に基づき、下水道使用料を改定するため、関係条文の整備をしようとするものです。

原案承認 全会一致

議案第48号『政治倫理の確立のための木更津市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について』

証券取引法等の一部を改正する法律の公布に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第49号『木更津市条例の一部を改正する条例の制定について』

地方税法の一部を改

正する法律等の施行に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 賛成多数

平成19年度予算額一覽表

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	議決後の額
一般会計	32,769,648	3,338	32,772,986
特別会計			
国民健康保険	13,056,400	0	13,056,400
老人保健	7,402,700	0	7,402,700
介護保険	5,615,800	0	5,615,800
公設地方卸売市場	80,400	0	80,400
公共下水道事業	3,168,400	1,974	3,170,374
駐車場事業	327,000	0	327,000
小計	29,650,700	1,974	29,652,674
水道事業会計	5,215,020	0	5,215,020
合計	67,635,368	5,312	67,640,680

議員発議案

発議案第4号『基地対策特別委員会の設置について』 発議案第

原案可決 賛成多数

議案第52号『市道路線の認定について』

議会の議決を得ようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第53号『市の区域内における君津市道路線の認定の承諾について』

本市区域内に位置する道路の一部を新たに君津市道として認定することの承諾について、議会の議決を得ようとするものです。

原案可決 全会一致

新たに設置された特別委員会の構成と設置目的

委員会の名称	委員長		副委員長		所管事項
	委員の氏名	委員の氏名	委員の氏名	委員の氏名	
基地対策特別委員会 (定数8人)	大近 藤 村 富 良 藤 崎 高 忍 橋 野 武 也 岡 田 口 根 滝 口 彦 佐 藤 敏 信 多 美 夫				基地等に関する諸問題について調査研究するため
みなと木更津活性化特別委員会 (定数8人)	荻平 野 一 男 野 野 田 卓 義 西 野 芳 久 大 野 勝 義 山 西 俊 幸 大 野 誠 子 石 井 量 夫 三 上 和 俊				みなと木更津再生構想の推進に関する調査研究のため
合併調査特別委員会 (定数8人)	平 野 秀 樹 鶴 岡 大 貴 高 田 英 治 白 橋 英 子 高 橋 清 秀 後 藤 清 治 前 田 秀 治				君津地域4市合併・中核市への取組調査のため

5号「みなと木更津活性化特別委員会の設置について」 発議案第6号「合併調査特別委員会の設置について」 いずれも特定の事項について専門的な調査研究をするため、新たに特別委員会を設置しようとするものです。

各特別委員会の所管事項と委員構成は、左表のとおりです。

原案可決 全会一致

発議案第7号「廃棄物中間処理施設建設に関する意見書について」

請願第1号の内容に関する意見書を千葉県知事に提出しようとするものです。

原案可決 全会一致

請願第1号「廃棄物中間処理施設建設反対に関する請願書」 笹子地区に建設が計画される廃棄物中間処理施設について、地域住民にとつての良好な生活環境を将来的に保持するため、建設許可をしないよう措置することを求める意見書を千葉県知事に提出しようとするものです。

陳情第2号「国に請願者：笹子自治会・会長 茂田隆 外1団体」

原案可決 全会一致

陳情第2号「国における平成20年度(2008年度)教育予算拡充に関する意見書」 採択 全会一致

陳情第2号「国における平成20年度(2008年度)教育予算拡充に関する意見書」 採択 全会一致

陳情第2号「国における平成20年度(2008年度)教育予算拡充に関する意見書」 採択 全会一致

陳情第4号「地域手当の県内格差支給は正に関する意見書」 採択 全会一致

陳情第4号「地域手当の県内格差支給は正に関する意見書」 採択 全会一致

陳情第4号「地域手当の県内格差支給は正に関する意見書」 採択 全会一致

要な予算の拡充を図るよう、国に対して意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：千葉県教職員組合君津支部・支部長 柏谷哲也

採択 全会一致

陳情第3号「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」 採択 全会一致

義務教育の円滑な推進を図るため、義務教育費の国庫負担制度を堅持するよう、国に対して意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会・会長 安藤昭雄

議員全員協議会で報告された事項

全員協議会は、法令等で決められた会議ではありませんが、事実上、全議員が議場に集合して開かれる会議です。市政に関する重要な事件や市議会内部の処理事項等についての協議、報告等が行われます。

6月27日

- 木更津市第3次総合3か年プランについて
- 羽田再拡張事業に係る山砂運搬について
- 平成19年度住民参加型市場公募債の発行概要について
- 木更津駅西口再開発ビル(アクア木更津)の現況等について
- 水道料金収納業務の民間委託について
- 君津地域水道事業の統合・広域化に向けた検討について

委員会の動き (5月~7月)

- 総務常任委員会 6/20 付託案件審査議案3件)
- 経済環境常任委員会 6/20 付託案件審査 請願1件)
- 教育民生常任委員会 6/21 付託案件審査 議案4件)
- 建設常任委員会 6/21 付託案件審査 (議案2件・陳情3件)
- 建設常任委員会 6/21 付託案件審査 議案5件)
- 議会運営委員会 6/5 6月定例会議事運営について
- みなと木更津活性化特別委員会 7/10 みなと木更津再生構想の進捗状況について

次の定例会は、9月4日(火)から開催される予定です。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください

声の議会だよりについて
視覚障害者を対象に市議会だよりを録音したテープを貸し出しています。申し込みは議会事務局へ。

会議録の閲覧について
平成19年6月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで平成19年8月15日(水)頃から閲覧することができます。

インターネットによる会議録の検索・閲覧について
市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。

URL <http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/>
(平成19年6月会議録【HP版】は8月中旬公開の予定です。)

議会広報委員の紹介

4月の木更津市議会議員一般選挙により28名の新しい議員が決まりました。これに伴い「ささら」市議会だより」の編集を行う、「木更津市議会広報委員会」も新メンバーとなりました。市議会の活動が皆様に伝わるよう、読みやすく、充実した議会だより作りに努めてまいります。

- 委員長 白坂 英義
- 副委員長 近藤 忍
- 委員 岡野 卓志
- 委員 平野 貴志
- 委員 斎藤 俊子
- 委員 高橋 義志
- 委員 國吉 英子
- 委員 藤崎 義志

